

ムンバイ日本人学校だより

グルモハル

JAPANESE SCHOOL OF MUMBAI

Unit No.201/202,Hiranandani Knowledge Park,

Technology Street,Near Dr.L.H.Hiranandani-

Hospital,Powai,Mumbai-400076,India

TEL 022-6694-0630 FAX022-6221-5107

23May/2022 NO2

子どもの発達とかかわり方

生後8週間は母子共生期と言われ、お母さんと赤ちゃんの時間を守ることが重要な為、この期間に実家での休養がとられる事も多いようです。

その後、3歳までは無意識的記憶時期と言われます。この時期に大切なのは、安定できる環境です。例えば、いつもお母さんに抱っこされている様な安心感を与える為にトッポンチーノ(おくるみ)を使ったり、ある程度の視力がつく2ヶ月からモビール、手の動きができるようになる6ヶ月頃にはガラガラ、それもプラスチックだけでなく違う材質の物を用意して好きなものを選ばせたりする事も重要だと言われます。

1~2歳は、運動の敏感期と言われ人生の中で一番出来る事が増える時期で、自分で選んで集中してできるという体験を通して、有用感や自己肯定感が芽生える時期となります。

この時期に大切なことはたった一つ。邪魔をしないことです。ティッシュを箱から全部出したり、高いところによじ上り飛び降りたりする等意味のない悪戯に見える事ばかりですが、あれもダメこれもダメと止めない忍耐が必要で、こんな事を繰り返すことによって、その動きが自分のものになり、自分でできた喜びがやる気に繋がり、また別の動作へと成長していきます。やってはいけないことは、急き立てる、先回り、中断、代行ほったらかす事です。子どものやる気を削がないことが重要です。

1~2歳の最大テーマは、歩く、手を使う事です。手を使うことにより脳が発達し、二足歩行によって手が自由に使えます。落とす、入れる、通す、つまむひねる等の動作ができるおもちゃを選び易いようにおもちゃ棚に並べておくことが有用です。

2~3歳はイヤイヤ期、母子分離期とも言われます。この時期に大切なのはバイバイしても必ず迎えに来てくれるという体験の繰り返しです。

0~3歳で能力の80%が身につくと言われていています。0~3歳で覚えた事を3~6歳の時期に数珠繋ぎにして知性に繋げていきます。3~6歳の時期には親の理解とフォローが大切です。この時期は個人差が大きいため、年齢ではなく以下の5つの敏感期で分けて考えます。運動、感覚、言葉、数、文化・礼儀です。まず運動の敏感期は、自分の身体をコントロールして日常生活に活かす段階で、身の回りの事が自分でできるようになる為の訓練期となります。最適なのはハサミと貼り絵です。大人には簡単でも3歳児にはとても難しい事です。手に合った大きさのハサミを用意したり、つまずいている所で手助けやアドバイスをしたりする事で、自分で出来たと言う達成感を繰り返しもたせることが大切です。

感覚の敏感期は同一性、比較、分類の順で、例えば、同じ重さ、どちらが重い、3~4種で順番に並べたり、マトリョシカ等で大きさを比べたりするのも良いでしょう。次いでザラザラ、すべすべ等の触覚、聴覚へと進めます。聴覚では絶対音感がイメージされ、ピアノ教室に直結しそうですが、音階が出せる物を使って高い音、低い音の判別からドレミの音あてゲーム。慣れたらドレミファソラシドと種類を増やしていきます。

3つ目は言葉の敏感期。「これなに？」に根気強く付き合うことが肝心です。4歳以降は文字を読む敏感期に入ります。いたる所に50音表、アルファベット等文字がたくさん書いてある物を貼って刺激する。平仮名を覚えたら、物と文字を繋げる活動を開始します。5歳以降は、早口言葉や大人との会話が大切です。語彙力を豊かにする絶好期です。

数の敏感期は5~6歳頃に訪れ、何でもかんでも数を数えたがるようになります。

1.2.3、、、の読み方と実際の物の数を対応させる遊びを楽しむのが良いでしょう。

最後に文化・礼儀の敏感期に大切なのは、挨拶、食事のマナー、言葉遣いを親が見本を見せることが大切です。書いているうちに紙面が無くなりました。児童期については次回とさせていただきます。



ようこそ！ムンバイ日本人学校へ



令和4年度がスタートして1ヶ月ほどになりますが、ムンバイ日本人学校では新しい児童生徒と先生を迎え、ますます活気が出てきました。特に昨年度と変わったのは、今年度の4月中旬から毎週のように、児童生徒の編入学があり、5月に入ってからついに児童生徒数が30名を超えました。

新しい友達がやってくるたびに全校朝会で歓迎会を開きますが、ここでは中学部の生徒が代表して歓迎の言葉で迎えます。昨年度まではコロナ禍の中、思うようにできなかった行事や活動等も、今年度は少しずつできるようになってきています。もちろん、感染対策は今まで通りに行った上での活動ですので、コロナ以前のような形での実施はまだ難しいところはありますが、できることから前向きに進めていく予定です。



新しく3人が加わりました



新しく1人が加わりました

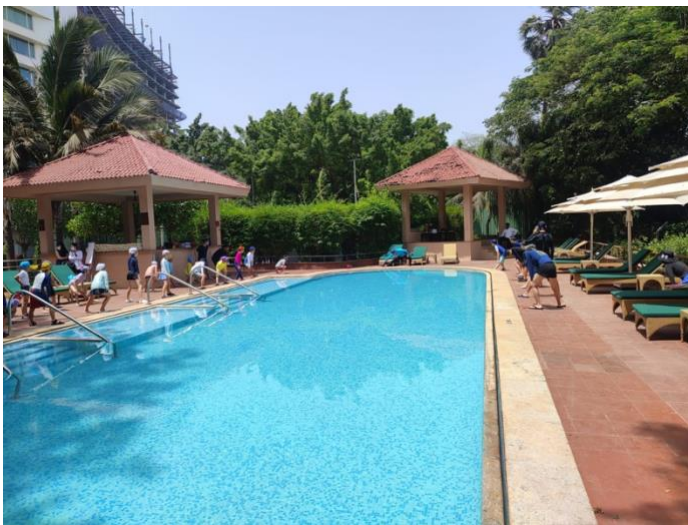


新しく2人が加わりました



新しく2人が加わりました

プールで授業を行いました



待ちに待ったプールでの授業を、マリオットアパートメントホテルのプールを借りて行いました。コロナ禍の中で2年間できなかったプールでの授業ですが、今回ようやく行うことができました。

子供たちもプールで泳ぐ機会がしばらくなかったので、まずは準備体操で体をしっかりほぐして水に入りました。

今回が1回目でしたが、子供たちにとっては適度な疲労感と泳げた満足感で終わることができたようでした。

学校行事等の実施に向けて

先月の保護者説明会においてのご意見等も踏まえ、今年度の学校行事等について再度洗い直し、コロナ禍の中で実施可能な行事等について検討作業を行いました。

町探検、現地校との交流、社会見学、校外体育、スピーチ大会など、コロナの状況次第ではありますが、実施の方向で準備を進めています。

